
1. 製品及び会社情報

製品名(商品名) : T-FC26SK3K
用途 : 東芝複合機 e-STUDIO 263CS
会社名 : 東芝テック株式会社
住所 : 〒141-8664, 東京都品川区東五反田2丁目17番2号
電話番号 : 0120-201-877
電子メールアドレス : DPTS-ECP@toshibatec.co.jp

販売者 : (1) 東芝テック株式会社
緊急連絡: 0120-201-877

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 分類基準に該当しない
健康に対する有害性
急性毒性(経口) : 区分外
急性毒性(経皮) : 区分外
急性毒性(吸入) : 分類対象外(蒸気)
皮膚腐食性・刺激性 : 区分外
眼に対する重篤な損傷・目刺激性 : 分類できない。
呼吸器感作性 : 分類できない。
皮膚感作性 : 区分外
生殖細胞変異原性 : 分類できない。
発がん性 : 分類できない。
生殖毒性 : 分類できない。
特定標的臓器毒性(単回暴露) : 分類できない。
特定標的臓器毒性(反復暴露) : 分類できない。
吸引性呼吸器有害性 : 分類対象外

環境に対する有害性

水生環境急性有害性(急性) : 分類できない。
水生環境慢性有害性(慢性) : 分類できない。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル : なし
絵表示又はシンボル : 該当しない
注意喚起語 : 該当しない
危険有害性情報 : 該当しない
注意書き
【予防策】 : 該当しない
【対応】 : 該当しない
【保管】 : 該当しない
【廃棄】 : 該当しない

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別

：混合物

組成名重量%CAS 番号官報公示整理番号[A]

化審法

ポリステル樹脂

カーボンブラック

3-5

ワックス(固形パラフィン)

1-3

シリカ

1-5

すず及びその化合物

0.1-1

--- : 非公開

4. 応急処置

一般の粉末(小麦粉、粉ミルク等)と同様に以下の処置をして下さい。

吸入した場合

：新鮮な空気のある場所に移動させ、多量の水でよくうがいをする。咳などの症状が出るようであれば医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合

：石鹸を使って水で良く洗い流す。

目に入った場合

：直ちに流水で良く洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合

：口の中をすすぎ、コップ1、2杯の水を飲ませる。

必要に応じて医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

消火器(剤)

：水(シャワー放水)、泡消火器、粉末消火器、炭酸ガス消火器

使ってはならない消化剤

：情報なし

消火方法

：粉末のため吹き飛ばさないように注意する。

周囲に放水し、温度を下げるようにして消火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

：吸入と経口摂取に充分注意すること。

眼・皮膚及び衣服への接触に注意を払うこと。

保護具及び緊急処置

：通常は上記注意事項に従い下記回収を施すことで、特別な保護具および緊急措置は必要なし。

環境に対する注意事項

：下水道や河川への漏出を防ぐ。

回収

：できるだけトナーを飛散させないようにかき集め、濡れ雑巾などで拭きとる。

7. 取扱及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

：換気を行うこと。火元から離れて取り扱うこと。

注意事項

：吸入と経口摂取に充分注意すること。

眼・皮膚及び衣服への接触に注意を払うこと。

取り扱った後や食事・喫煙の前には手を良く洗うこと。

局所排気・全体換気

：推奨取扱い範囲において上記適切な扱いを行うことで局所排気は必要なし。

保管

技術的対策

：特に安全上の技術対策は必要としない。

混触禁止物質

：特に無し

保管条件

：容器は密閉し、火気のある場所を避け、冷暗所に保管のこと。

注意事項

：子供の手が届かないようにすること。

安全な容器包装材料

：当社指定の容器包装材料を使用のこと。

8. 暴露防止及び保護措置

推奨取扱い範囲内において下記許容濃度に達しない為、特別な換気装置や保護具は必要としない。

管理濃度

: 設定されていない。

許容濃度

日本産業衛生学会勧告値(1997年度版)

第3種粉塵(その他の有機粉塵): 2mg/m³(吸入性粉塵)

ACGIH(1995-1996)

粒子状物質 : 3mg/m³(吸入性粉塵) 10mg/m³(総粉塵)

OSHA

粒子状物質 : 5mg/m³(吸入性粉塵) 15mg/m³(総粉塵量)

DFG-MAK

粒子状物質 : 1.5mg/m³(吸入性粉塵) 4mg/m³(総粉塵)

設備対策

: 推奨取扱い範囲内において不要

保護具

呼吸器

: 推奨取扱い範囲内において不要。範囲外の場合必要に応じて防塵マスク

手

: 推奨取扱い範囲内において不要。範囲外の場合必要に応じて作業手袋

眼

: 推奨取扱い範囲内において不要。範囲外の場合必要に応じて保護眼鏡

皮膚及び身体

: 推奨取扱い範囲内において不要。範囲外の場合必要に応じて防塵マスク

9. 物理的及び化学的性質

外観

形態

: 固体

形状

: 微粉末

色

: ブラック

臭い

: ほんんど無臭

pH

: 測定不能

融点

: 110-115°C

沸点、初留点及び沸騰範囲

: 情報無し

引火点

: 検出せず 300°C以上(類似品のデータ)

燃焼または爆発範囲の上限/下限

: 上限: 情報なし 下限: 情報なし

水の溶解度

: 不溶

溶媒溶解性

: トルエン、クロロホルム、テトラヒドロフランに一部溶解

n-オクタール/水分分配係数

: 情報無し

自然発火温度

: 情報無し

分解温度

: 情報無し

蒸気圧

: 情報無し

蒸気密度(空気=1)

: 情報無し

粘度

: 情報無し

比重(密度)

: 1.2g/mL (20°C)

10. 安定性及び反応性

化学安定性

: 安定

危険有害反応危険性

: 情報無し

避けるべき条件

: 情報無し

混触危険物質(他の物質との不適合)

: 情報無し

危険有害な分解生成物

: 情報無し

有害な化学重合

: 情報無し

11. 有害性情報

急性経口毒性	: LD50 2,000mg/kg. 以上(ラット) (類似品のデータ) (この値は、テスト可能な最大投与量)
急性吸入毒性	: 情報無し
眼一次刺激性	: 情報無し
皮膚一次刺激性	: 刺激性なし(ウサギ、未希釈、4時間 半閉鎖貼付試験OECD404 類似品のデータ)
皮膚感作性	: 陰性(モルモット、GPMT法、類似品のデータ)
変異原性	: Ames試験(TA98,TA100,TA1535,TA1537,TA1538,WP2uvrA): 陰性
発がん性	: カーボンブラック(CB)は、国際がん研究機構(IARC)によって、「グループ2B(ヒトに対して発がん性があるかもしれない)」に分類される。しかし、カーボンブラックを含有するトナーに対するラットを用いた慢性吸入暴露試験では、発がん性は認められなかった。また、北米、英国において多数の労働者に対し、長期間疫学調査が行われたが、「CB暴露による心肺系への特別な影響は悪性腫瘍を含めて認められない」との結果が得られている。
生殖毒性	: 情報無し
特定標的臓器(単回暴露)	: 情報無し
特定標的臓器(反復暴露)	: 動物実験でカーボンブラックを含有したトナーの長期吸入によるか肺への影響は低濃度領域(1mg/m ³)においては、特別な変化は認められない。 通常使用時に排出される濃度は上記の濃度を下回っており、人への影響は小さい
吸引性呼吸器有害性	: 情報無し

12. 環境影響情報

生体毒性	: 情報無し
残留性・分解性	: 情報無し
生体蓄積性	: 情報無し
土壤中の移動性	: 情報無し

13. 廃棄上の注意

廃棄方法	: 廃掃法 及び、条例に従って処理するか、 又は当社係員に渡してください。 トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。 火花が飛び散る恐れがあります。
------	--

14. 輸送上の注意

遮光、暗所保管、衝撃を与えない。	
国連分類	: 番号に該当しない
国際輸送情報	
DOT 49 CFR, ADR	: 危険物に該当しない
IMDG Code	: 危険物に該当しない
ICAO-TI	: 危険物に該当しない
容器等級	: 該当しない
海洋汚染物質	: 該当しない
その他情報	: 特に無し

15. 適用法令

日本

消防法

: 該当せず

労働安全衛生法

: 法代57条の2、施行令第18条の2別表第9名称等を通知すべき危険物及び有害物

シリカ(2～6%)

すず及びその化合物(0.1～1%)

固形パラフィン(1～3%)

カーボンブラック(3～5%)

化学物質管理促進法

: 該当せず

火薬類取締法

: 該当せず

高圧ガス保安法

: 該当せず

毒物及び劇物取締法

: 該当せず

船舶安全法

: 該当せず

航空法

: 該当せず

物質登録情報

: 化審法(日本)

有り

TSCA(USA)

有り

EINECS(EU)

無し(ELINCS届出)

AICS(Australia)

有り

DSL(Canada)

有り

ECL(Korea)

有り

PICCS(Philippines)

有り

IECSC(China)

有り

16. その他の情報

- | | |
|-------------|---|
| * CAS No. | : Chemical Abstract Service Registry Number
米国化学会の1部門であるCASにて1対1対応で各化学物質に付与された番号 |
| * 化審法 | : 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 |
| * ACGIH | : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
米国産業衛生専門家会議 |
| * OSHA | : Occupational Safety and Health Administration (USA) |
| * DFG-MAK | : Maximale Arbeitsplatzkonzentrationen unter Deutsche Forschungsgemeinschaft. |
| * LD50 | : Lethal Dose 50 50%致死量 |
| * LC50 | : Lethal Concentration 50 50%致死濃度 |
| * Ames試験 | : 微生物(サルモネラ、大腸菌など)を用いる変異原性試験 |
| * 廃掃法 | : 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 |
| * 化学物質管理促進法 | : 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 |

<参考文献>

- * EPA-600/R-95-045
Office Equipment: Design, Indoor Air Emissions, and Pollution Prevention Opportunities
- * 粉じん爆発の防止対策:p98-105(中央労働災害防止協会)

付 記

本製品安全データシートの内容は、できる限りの情報・知識において記述してあるが、記載された情報の正確性または完全性についていかなる責任も負いかねます。
また、本製品安全データシートの内容を許可なく使用したり、許可なく改訂したものを使用しての事故については、その責任を負いかねますのでご承知おきください。